



はじめのいっぽ

とよなかしりつせんりしょうがっこう
豊中市立千成小学校

ねんせいがくねん
1年生学年だより

はつこう
5月11日(月) 発行NO.10

「おんどく」って 素晴らしい!

あいての はなしを よく きくことが
できるように なる。



なんだか
ふわふわ した
きもち!

ことばの りずむや おもしろさを
かんじられるように なる。



こえを まえへ、しっかりと
だせるように なる。



なまむぎ
なまごめ
なまたまご



よみにくい ことばも
よめるように なる。

にほんごの おもしろさが
わかるように なる。



うえから よんでも
と・ま・と
したから よんでも
と・ま・と

音読の宿題について

『おんどくカード』（緑の画用紙ファイル）を子どもたちに配布しました。音読を聴いていただいて、評価とサインをお願いします。始めはたどたどしい読み方だと思いますが、何度か同じ宿題を出しますので、上達していく様子も感じていただけたらと思います。

また、物語文や説明文などでは、内容が深まれば音読の質も高まります。スラスラと読めるのはもちろんのこと、表現も豊かになっていくことでしょう。その変化を共に楽しみ、褒めることで「ちゃんと聴いて、認めてくれる人がいる」という安心感にもつながります。ご家庭でも親子で一緒に楽しみながら音読を続けてほしいと思います。

◎忙しいときは他の用事をしながら、片手間で聴いてもOKです！ただし、相槌を打ったり目線を送ったりするなどの「聴いているよ」アピールをしてあげてください。

音読の効果＝脳の活性化

○目で字を追い、声を出し、声を目で聞く。目・口・耳の三つを使うことで刺激が強くなり、より覚えやすく、忘れにくくなる。立って音読するのは足も使うので、更に効果的。

○インプット（認識する）とアウトプット（表現する）を同時に行うので、脳の血流を増加させ、劇的に脳を活性化させることができる。

○脳の記憶や学習・感情を司る前頭前野をきたえることができる。

それによって得られる力が以下に示す通り、たくさんある。

- ・記憶力UP
- ・頭の回転が速くなる
- ・感情のコントロール
- ・状況に合わせた判断力がつく
- ・コミュニケーション能力UP
- ・思考力と発想力UP
- ・応用力UP



音読は
いいこといっぱい！